

40	環境局	持続可能な資源利用の推進
事業概要	世界が直面している資源制約、環境制約の下でも、東京が経済力を維持・発展させていくため、都では、限られた資源を循環利用し、廃棄物発生を最小化に取り組むとともに、温室効果ガス排出量等の観点も含めた、持続可能な資源利用を目指した施策を推進している。	
これまでの経過	○平成28年3月 「東京都資源循環・廃棄物処理計画」策定 ○平成29年9月 「東京都食品ロス削減パートナーシップ会議」設置 ○平成29年11月 「レジ袋削減に向けた意見交換会」設置 ○令和元年10月 東京都廃棄物審議会からプラスチックの持続可能な資源利用に向けた施策のあり方について答申	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在の進行状況</p>	<p>1 「東京都資源循環・廃棄物処理計画」</p> <p>2030（令和12）年に向けて東京が目指すべき姿として掲げた、「持続可能な資源利用への転換」を実現するため、以下の施策に取り組んでいる。</p> <p>① 資源ロスの削減の促進（資源消費の無駄を見直し、資源生産性を向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品関連事業者団体、消費者団体及び有識者から成る「東京都食品ロス削減パートナーシップ会議」を設置し、食品流通段階や飲食店で発生する食品ロス削減策について検討 ・食品ロス削減を促進するため、都民に対して、「東京食品ロス0アクション」などのイベントを通じた普及啓発を実施予定 ・ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減に向け、新たな仕組みの構築に向けたモデル事業を実施予定 <p>② エコマテリアルの利用の促進（低炭素・自然共生・循環型の建築資材・物品等を選択して利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事等で発生するコンクリート塊のリサイクルを促進するため、再生砕石の普及拡大方策などについて継続的に検討 <p>③ 廃棄物の循環利用の更なる促進（より高度な循環利用と不適正な処理等の防止）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスビルや商業施設から排出される廃棄物（事業系廃棄物）のリサイクルを促進するため、区市町村等と引き続き協議 <p>2 プラスチック対策</p> <p>令和元年12月に公表した「プラスチック削減プログラム」を踏まえ、プラスチックの利用について、21世紀半ばまでに新規資源投入量の最少化、リユース及び水平リサイクルの徹底並びに環境中への流出実質ゼロを実現することにより、ゼロエミッション都市の実現に貢献するとともに、海洋プラスチックの新たな汚染ゼロを目指す。</p> <p>【当面の対策】</p> <p>① 共感を広げ、行動変容を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の行動変容、ライフスタイルの変革を促す情報発信 <p>② 先進的な企業と連携したイノベーションの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンウェイプラスチックに依存しない新たなビジネスモデルを構築 ・リターナブル容器による商品提供など事業者による使用済製品、容器の回収の仕組みを構築 ・再生プラスチックや海洋生分解性プラスチックの利用等の環境配慮設計の普及 <p>③ 区市町村と連携した分別、リサイクルの促進強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村へのプラスチック製容器包装の分別収集に係る支援、連携を強化 ・3Rアドバイザーが業務系ビルの分別、リサイクルを促進 <p>④ 国内循環ルート構築、海ごみ発生抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急対策として産業用原燃料化など新たな国内循環ルート構築を支援 ・TOKYO海ごみゼロアクションやアジアの諸都市との連携による海洋への流出ゼロに向けた取組を実施
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">見通し</p>	<p>「2020年に向けた実行プラン」や「東京都資源循環・廃棄物処理計画」等に基づき、引き続き「持続可能な循環型都市の構築」に向けた取組を推進していく。また、東京都食品ロス削減推進計画を策定し、関連施策を推進する。</p>

問い合わせ先	環境局 資源循環推進部 計画課	電話	03-5388-3576
--------	-----------------	----	--------------